



友母 人妻寝取り

これでも
アイツは

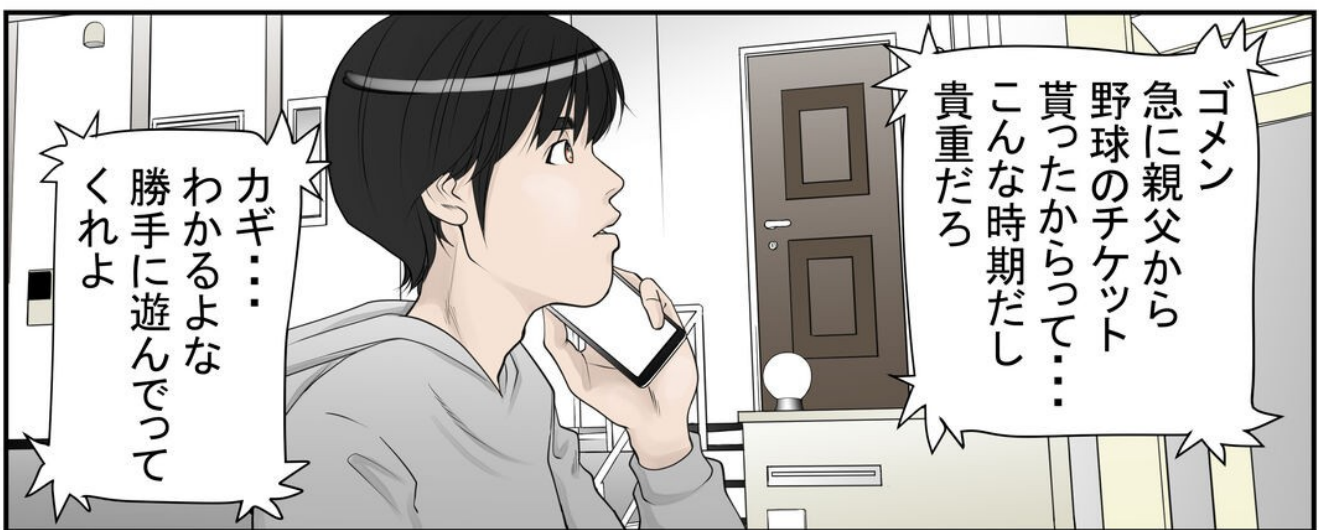
友人と呼んでくれるだろうか。

ボクのことを

♡♡♡

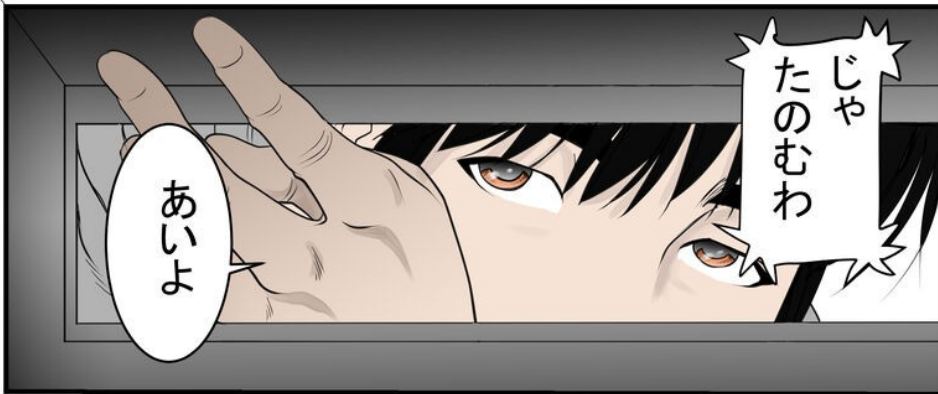


えっ...
ウソだろ もう
着いちゃったよ



ゴメン
急に親父から
野球のチケット
貰ったからって...
こんな時期だし
貴重だろ

カギ...
わかるよな
勝手に遊んでって
くれよ



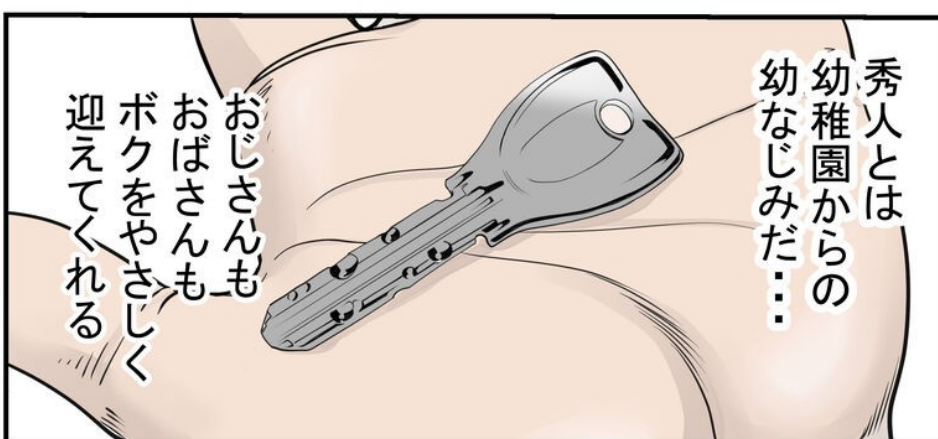
あいよ

じゃ
たのむわ



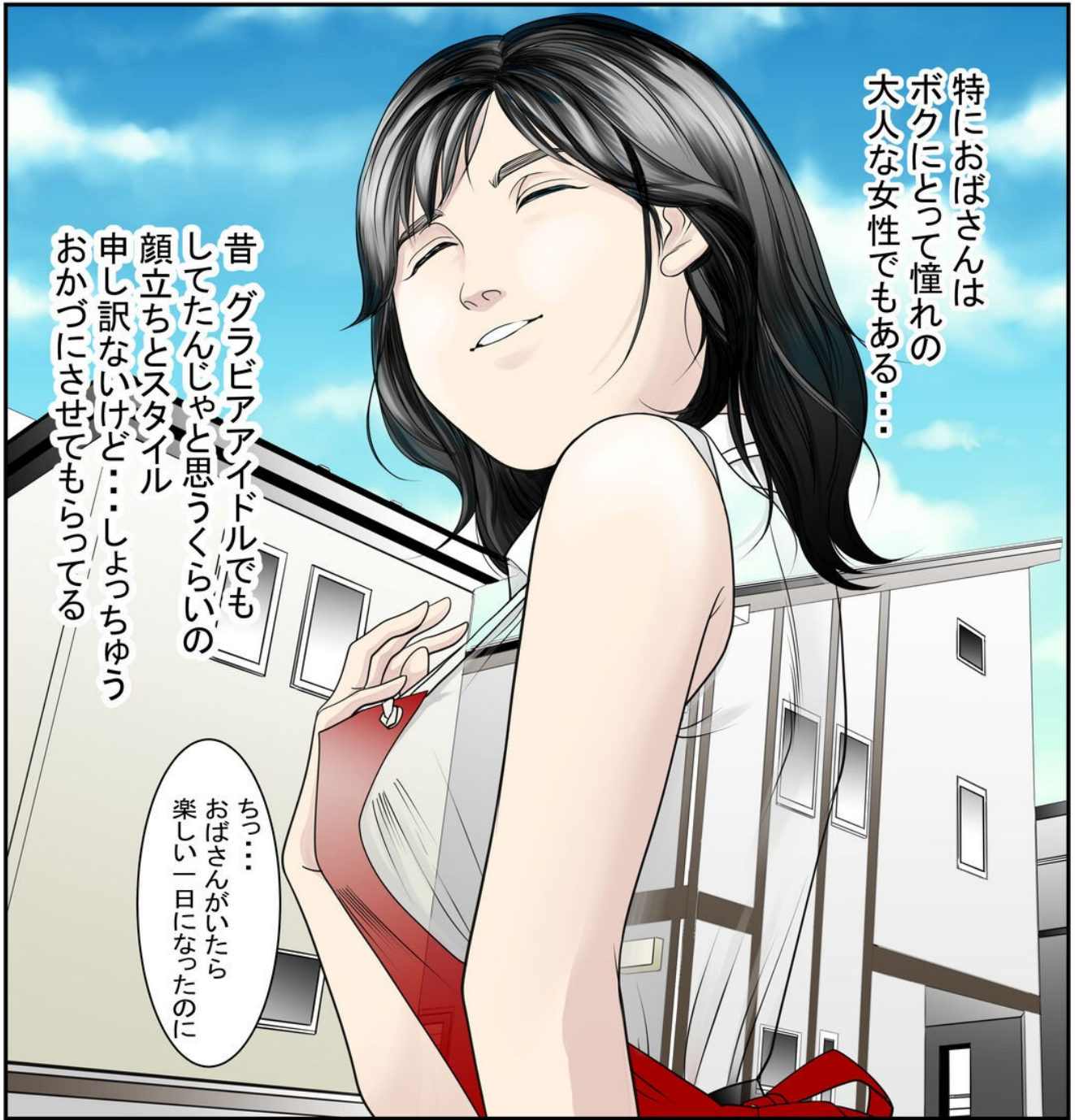
えっ
おばさんも

いやっ
出かけるかもって
言ってたから



秀人とは
幼稚園からの
幼なじみだ...

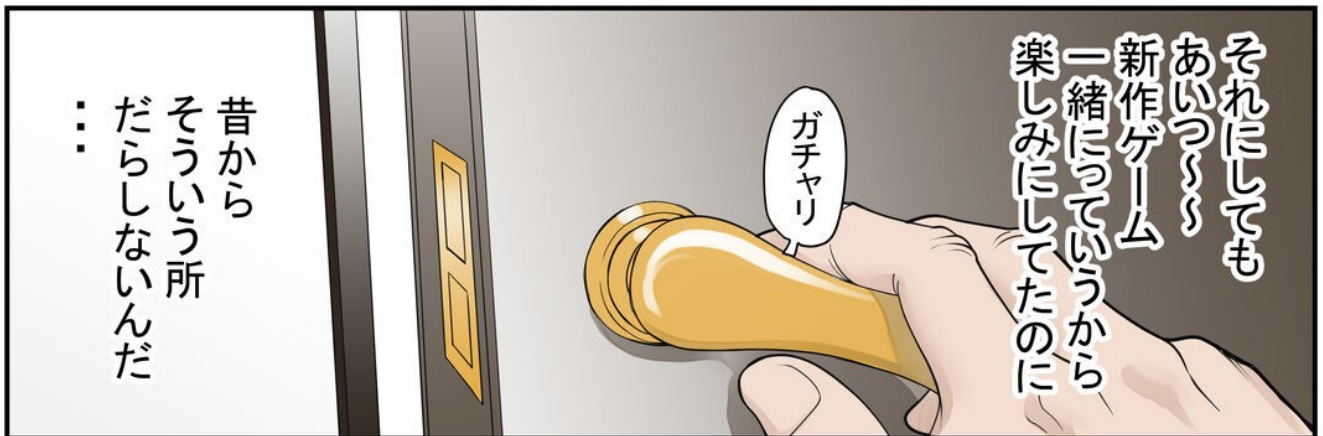
おじさんも
おばさんも
ボクをやさしく
迎えてくれる



特におばさんは
ボクにとって憧れの
大人な女性でもある……

昔グラビアアイドルでも
してたんじゃないかと思うくらい
顔立ちとスタイル
申し訳ないけど……しよっちゆう
おかづにさせてもらってる

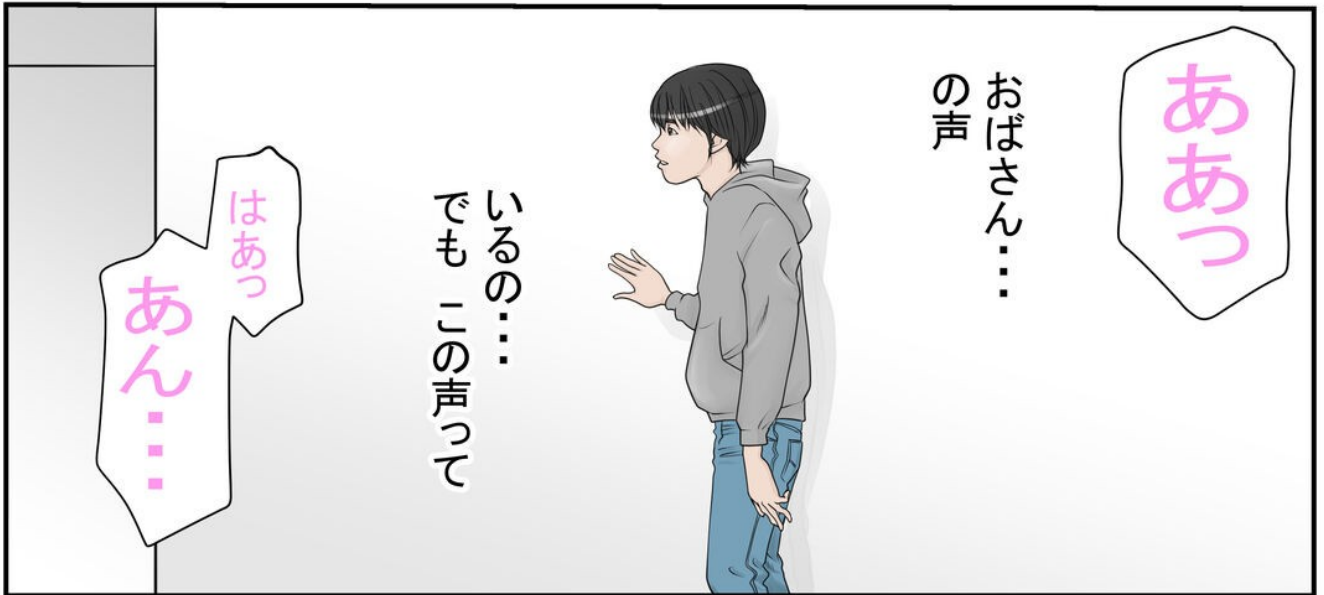
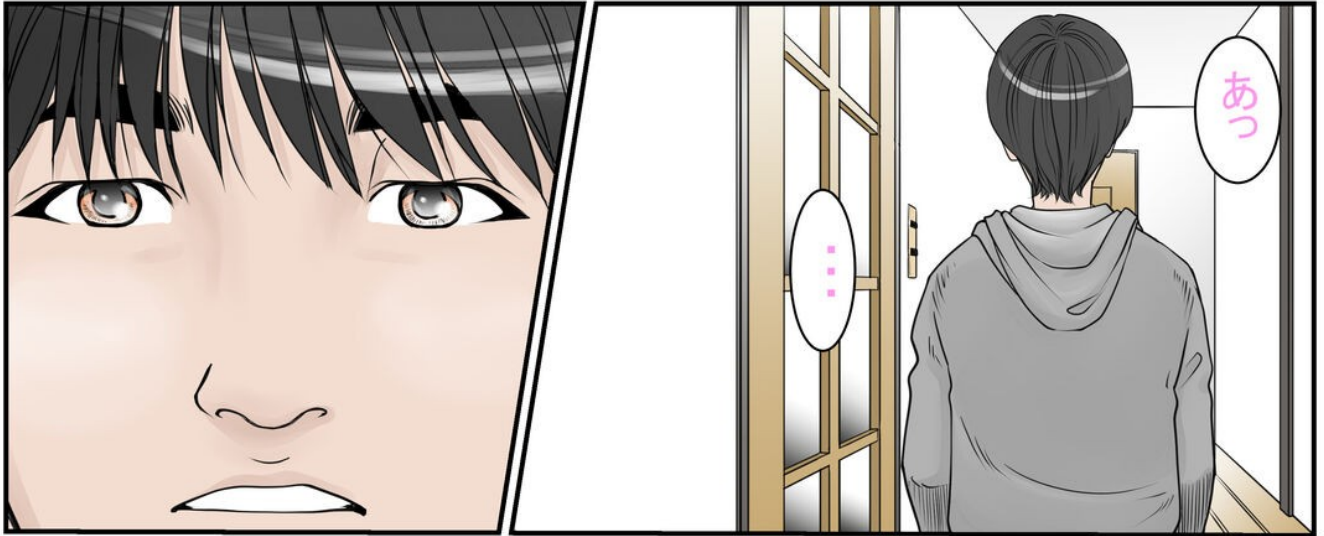
ちっ……
おばさんがいたら
楽しい一日になったのに



それにしても
あいつ……
新作ゲーム
一緒についていうから
楽しみにしてたのに

ガチャリ

昔から
そういう所
だらしないんだ
……



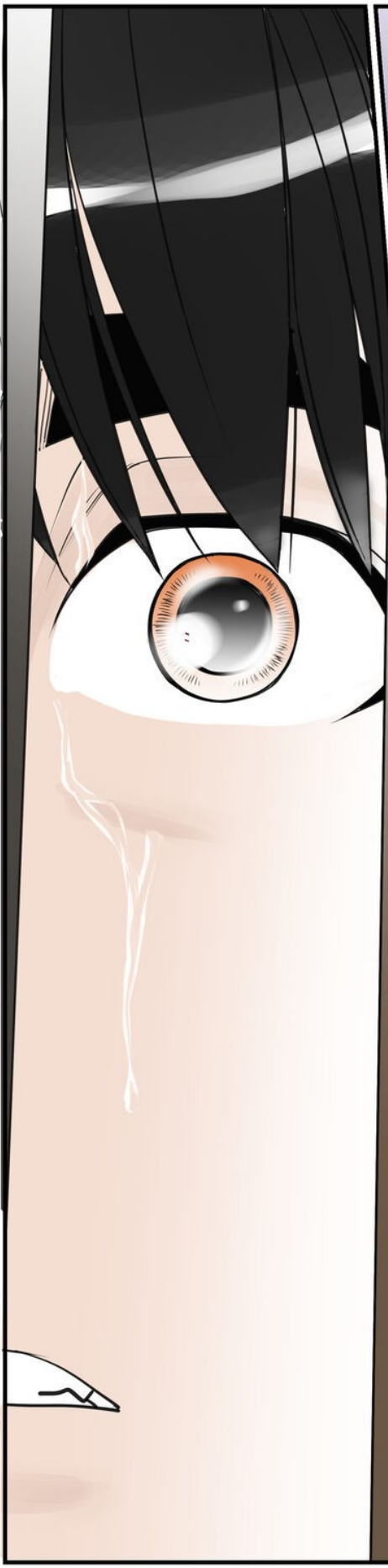
それはたしかに
友人の母親……

もっとな
もっとな

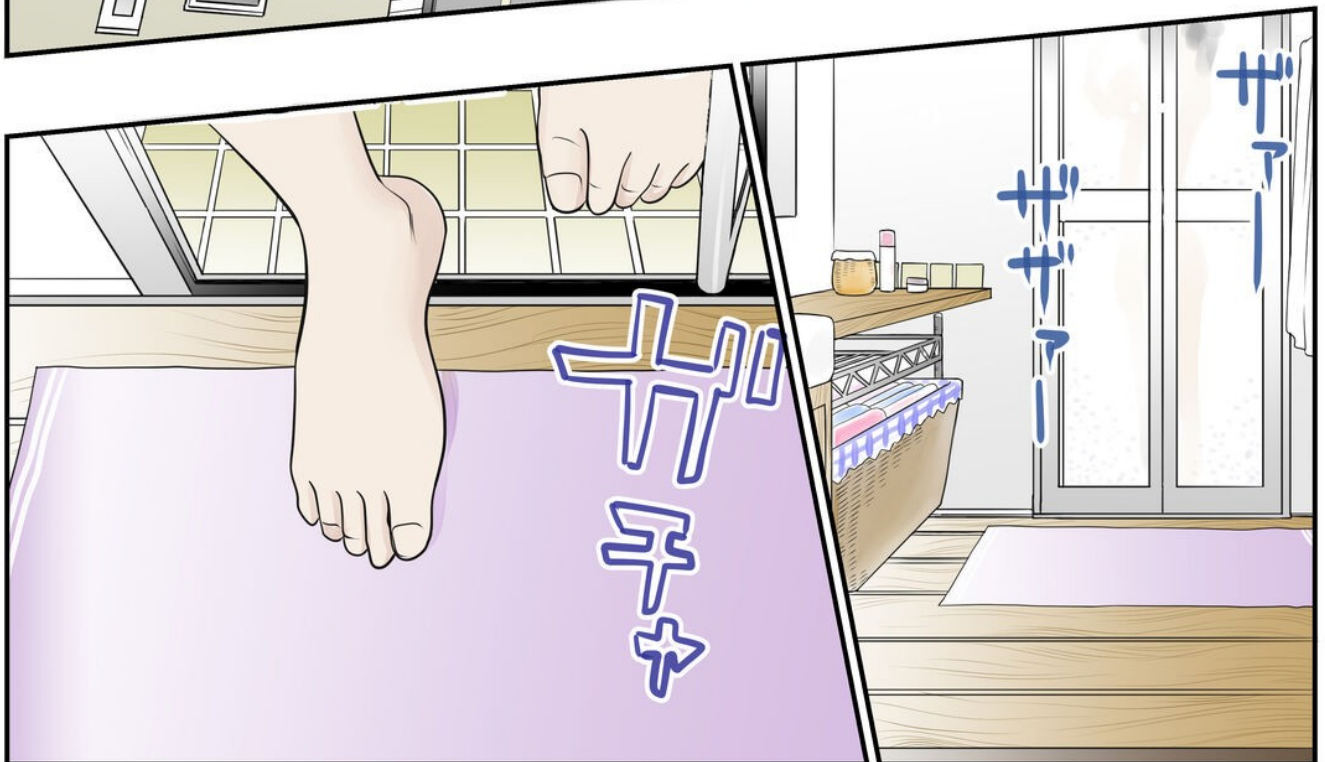
彼女の肉体は
みたことのない男によって
揉みしだかれ喘ぎ
自らも腰を振り続けていた

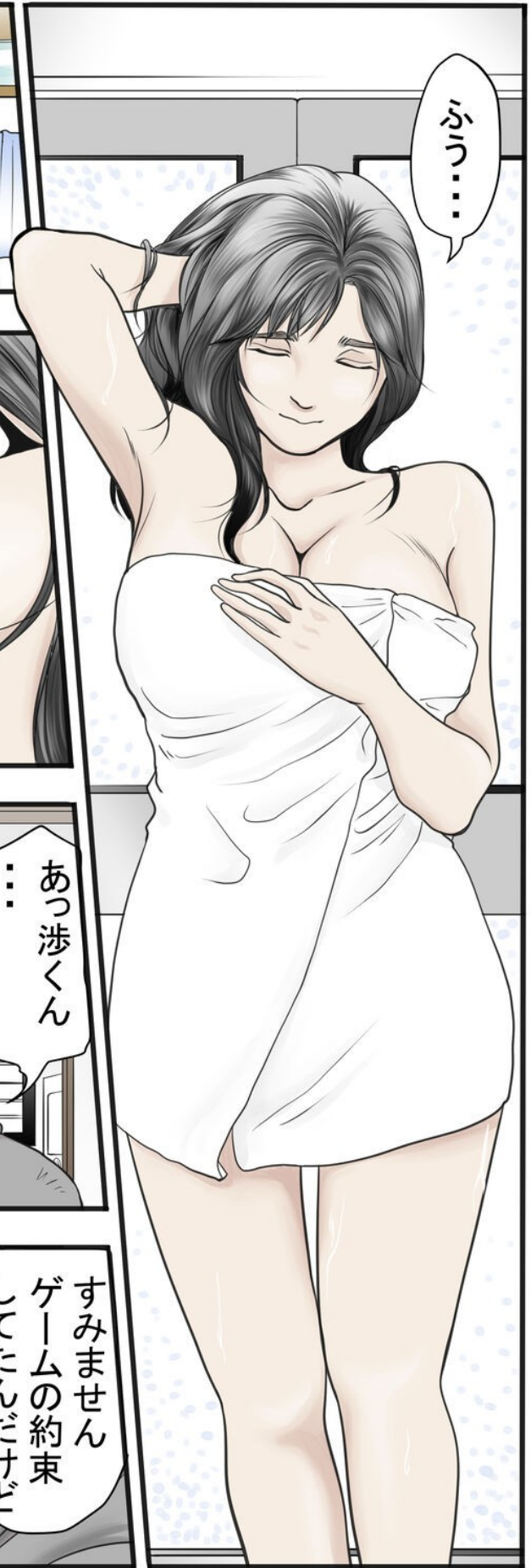
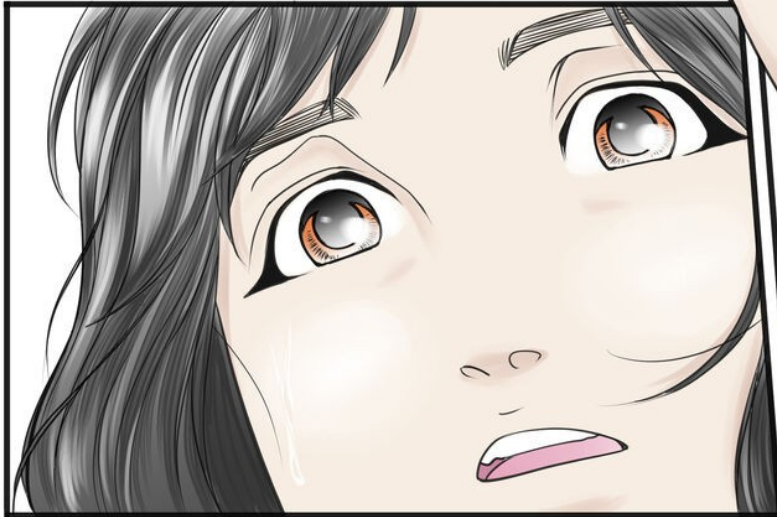
ずりっ

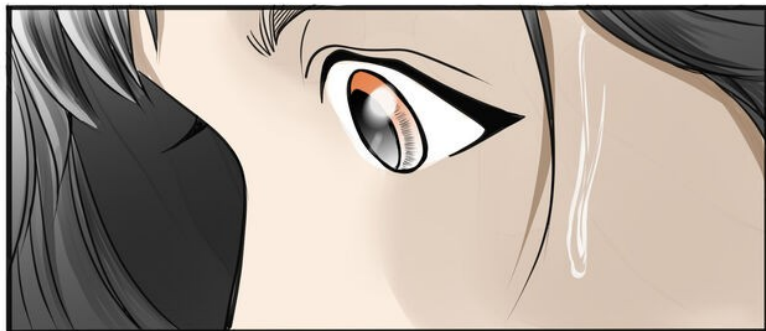
ずるっ

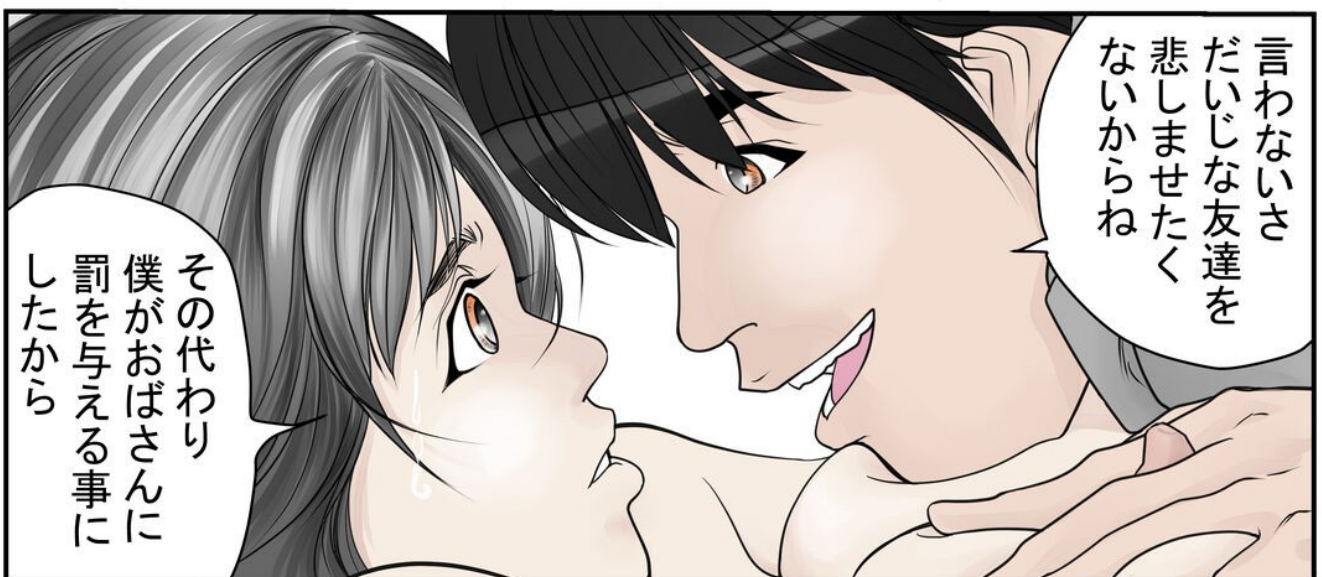


男は……
犯ることをやったら
さっさと帰っていった
車も無かったことから
見つからないように
用心したせいこいヤローだ









だってそうだから
あんな男にこの身体
好き放題にさせて

そのまま
済まそうなんて
ずるいよ

ニギ

ニギギッ

ずるい...

確かめなきゃ

家族を裏切った
身体がどんな
ものか...

ツ

入れるよ
いいねっ

ダメダメッ
涉くん…
あなた秀人の
お友達なのよ
なのにこんな…

ネチッ

そう
落ち着いて
他のことなら
なんでもっ

ヌキ…

ね…



ジヨリ

はあッこれが
お婆さんの
マ〇コか〜

ツ

マッキッ
マッキッ

やめられるわけ
ないだろ
こんなチャンス

ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ

ズ
ズ
ズ

ずっと……ずっと
こうしたかったんだ
おばさんのこと
そんな風に見てた

すげー……

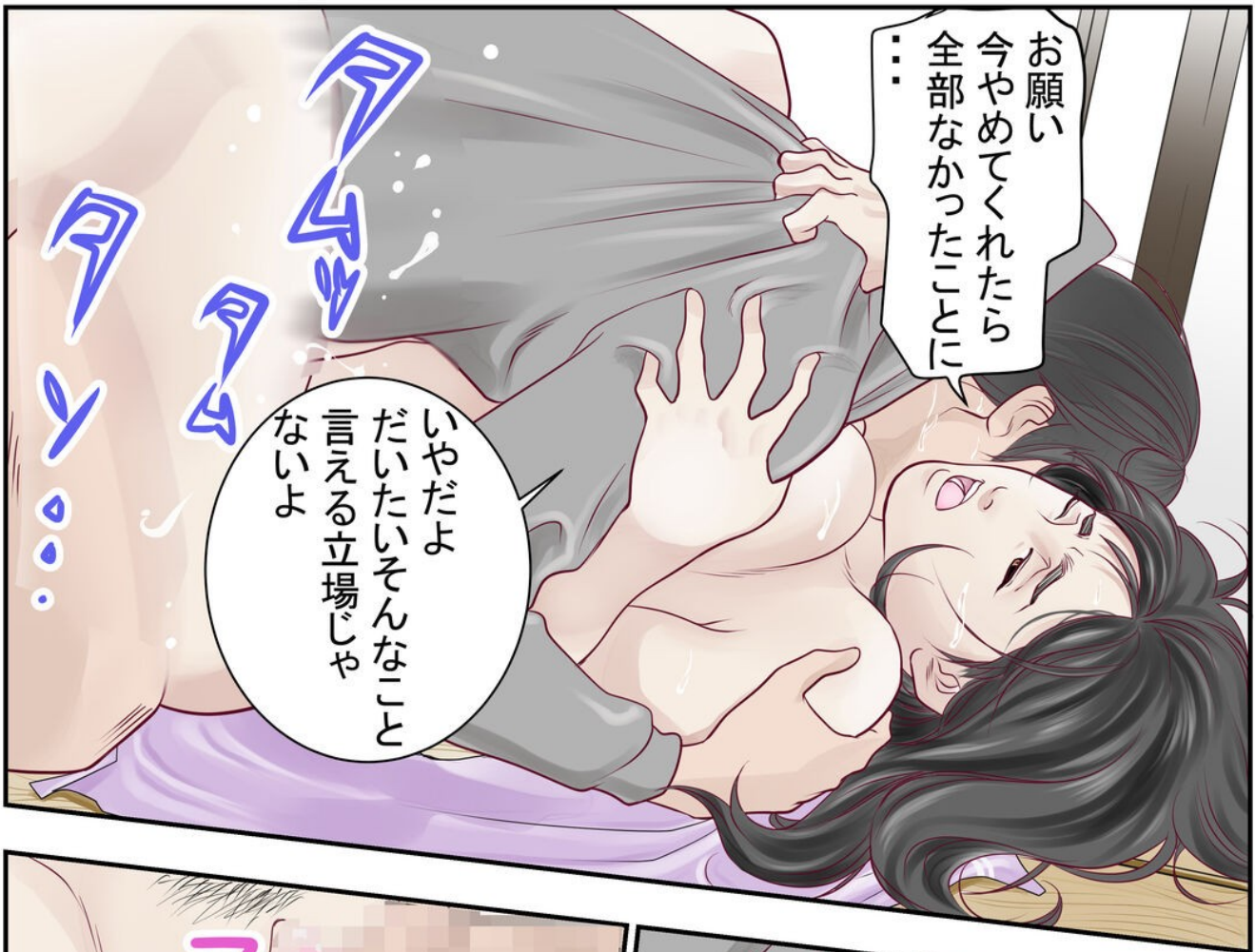
ギョ
ギョ

ギョ
ウ
ウ……

あっあああ
何コレ
締め付けられる

ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

んんんっ



お願い
今やめてくれたら
全部なかったことに
...

いやだよ
だいたいそんなこと
言える立場じゃ
ないよ



この
おマ○コも
想像以上だ



柔らかいっ

夢だったんだ
このオツパイ



ハア
ハア
ハア



あぁあつ
もっ...
もうダメだア

あッ

あ

あ

渉くん
終わっちゃ
...うっツツ

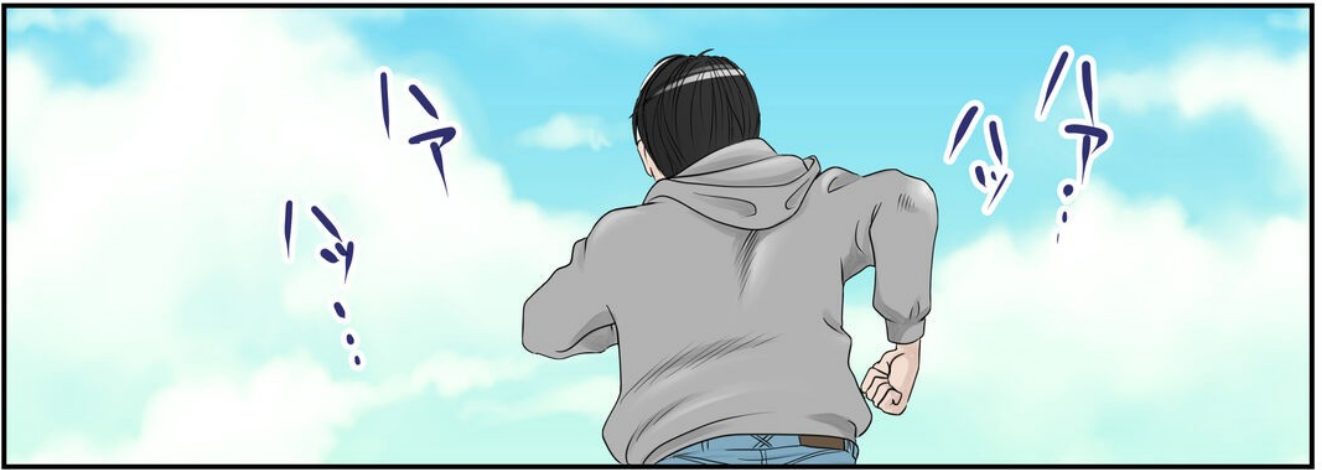


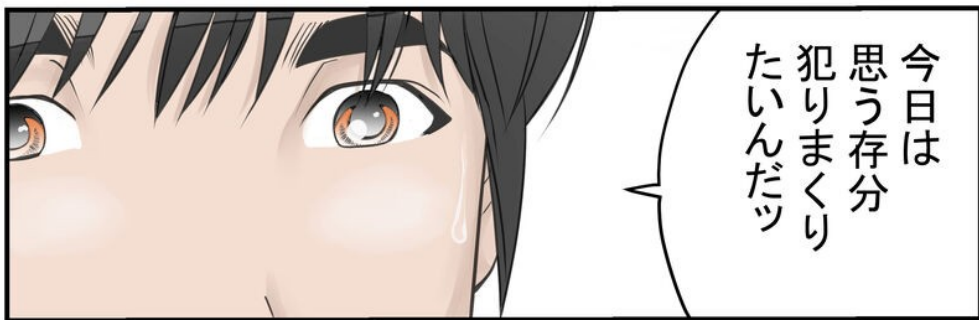
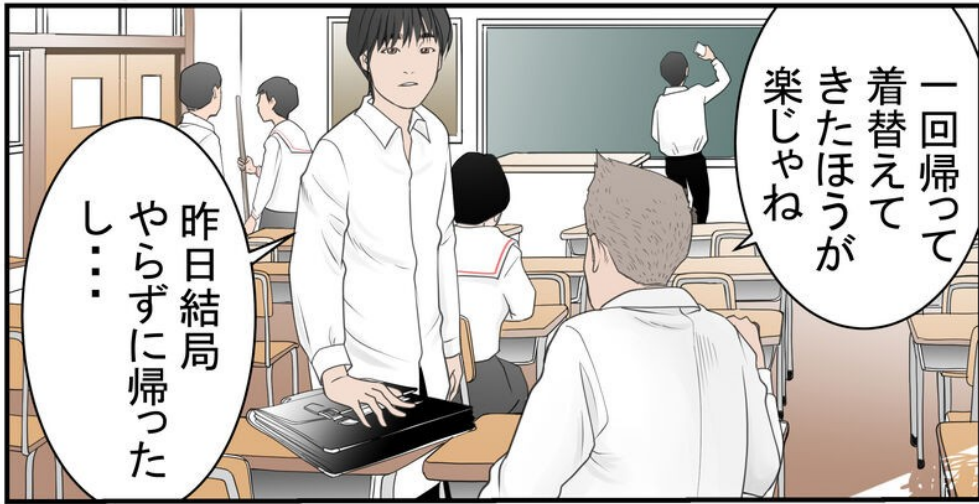
まさか
こんな日が

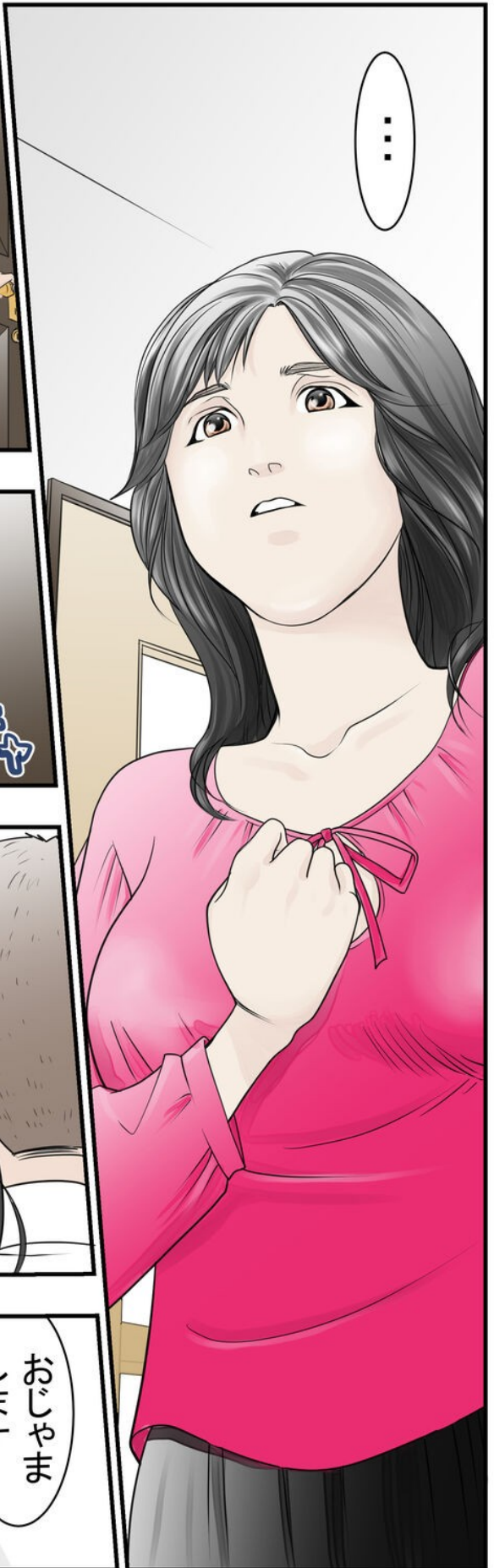
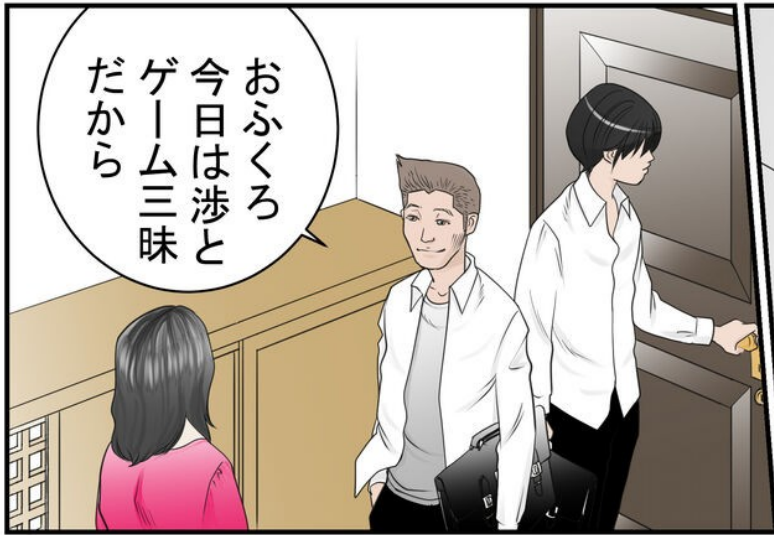
ドクッ
ドクン

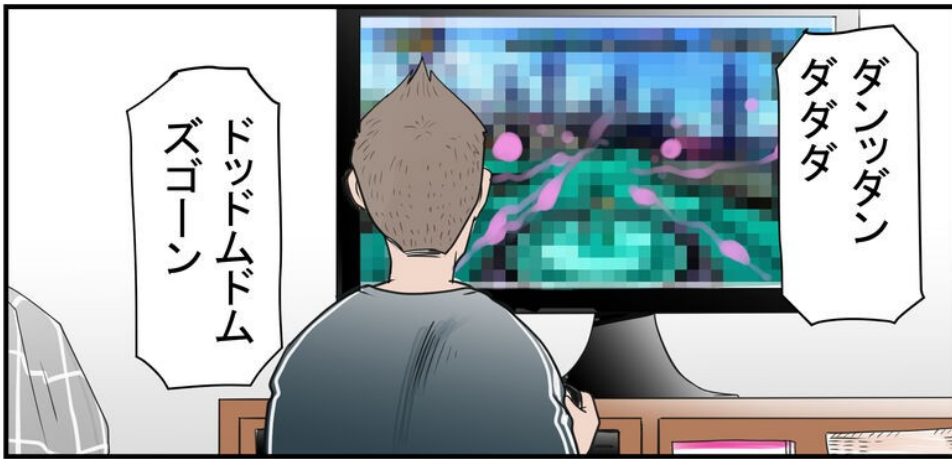
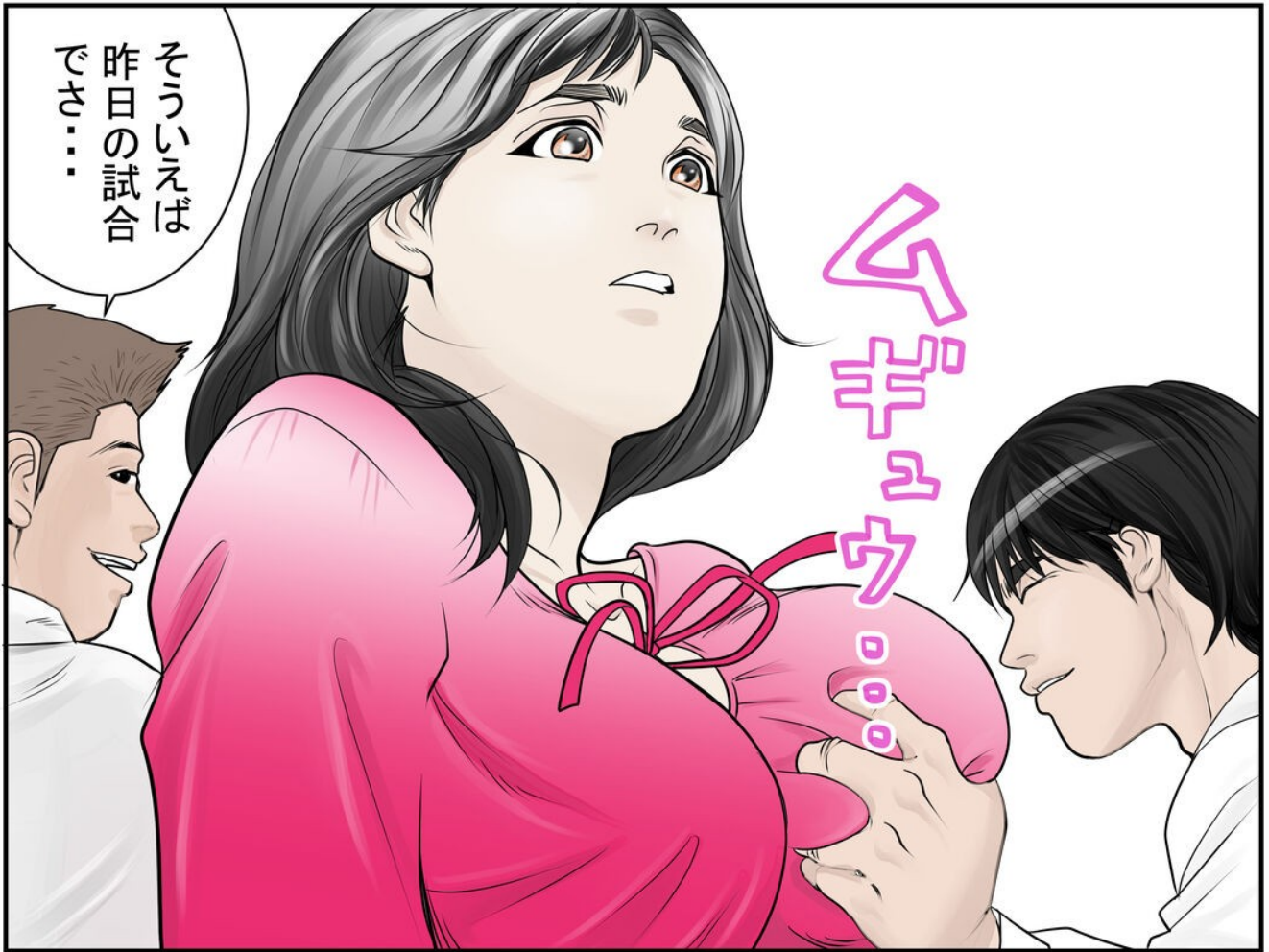
ブッ
ブッ

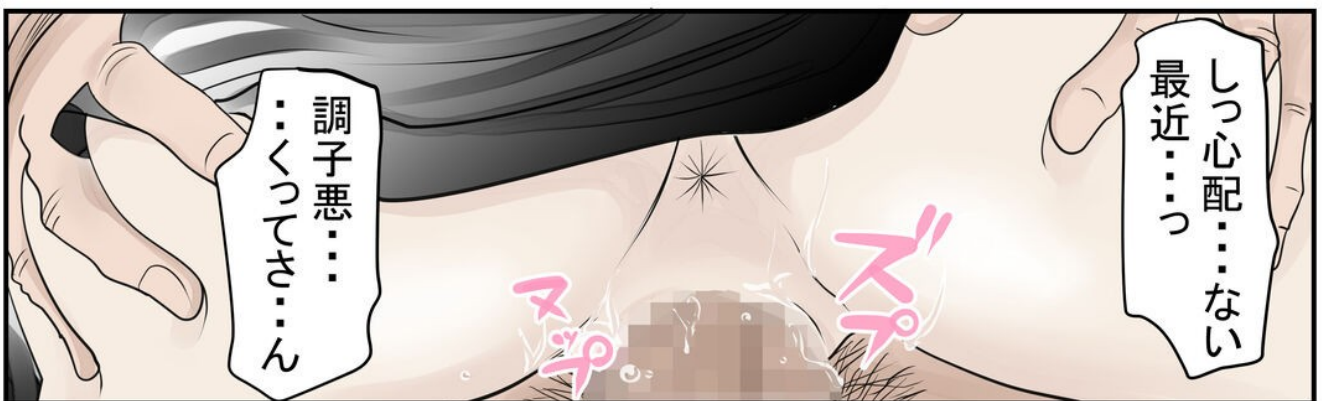
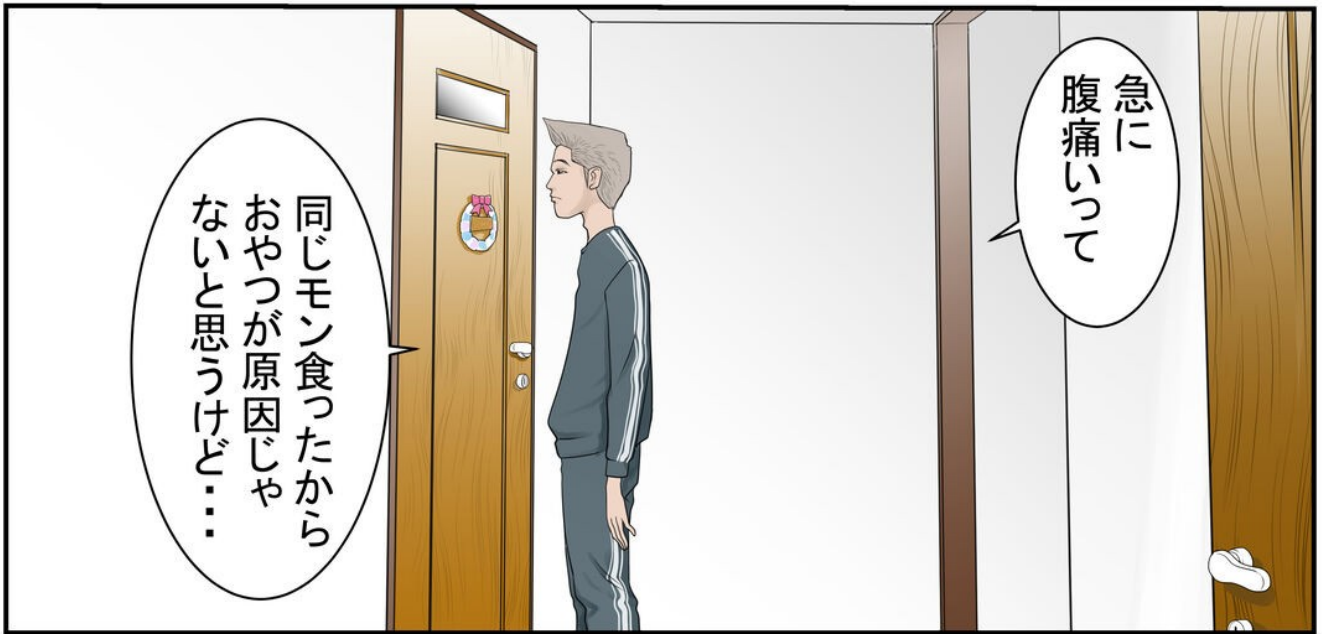
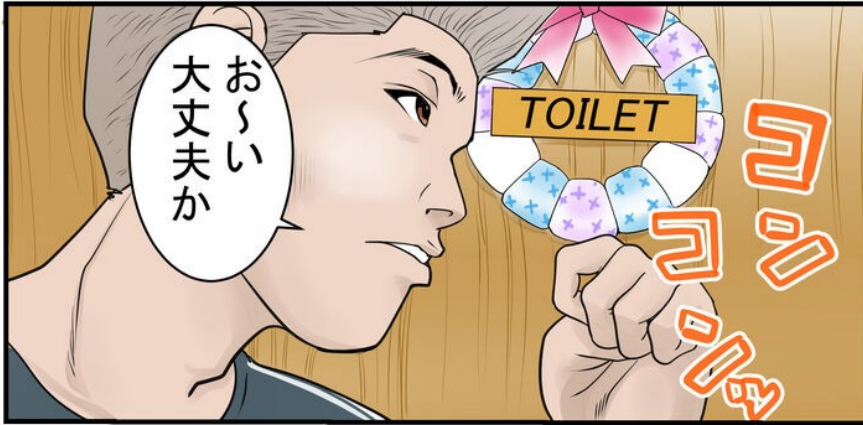
突然やって
くるなんて
...

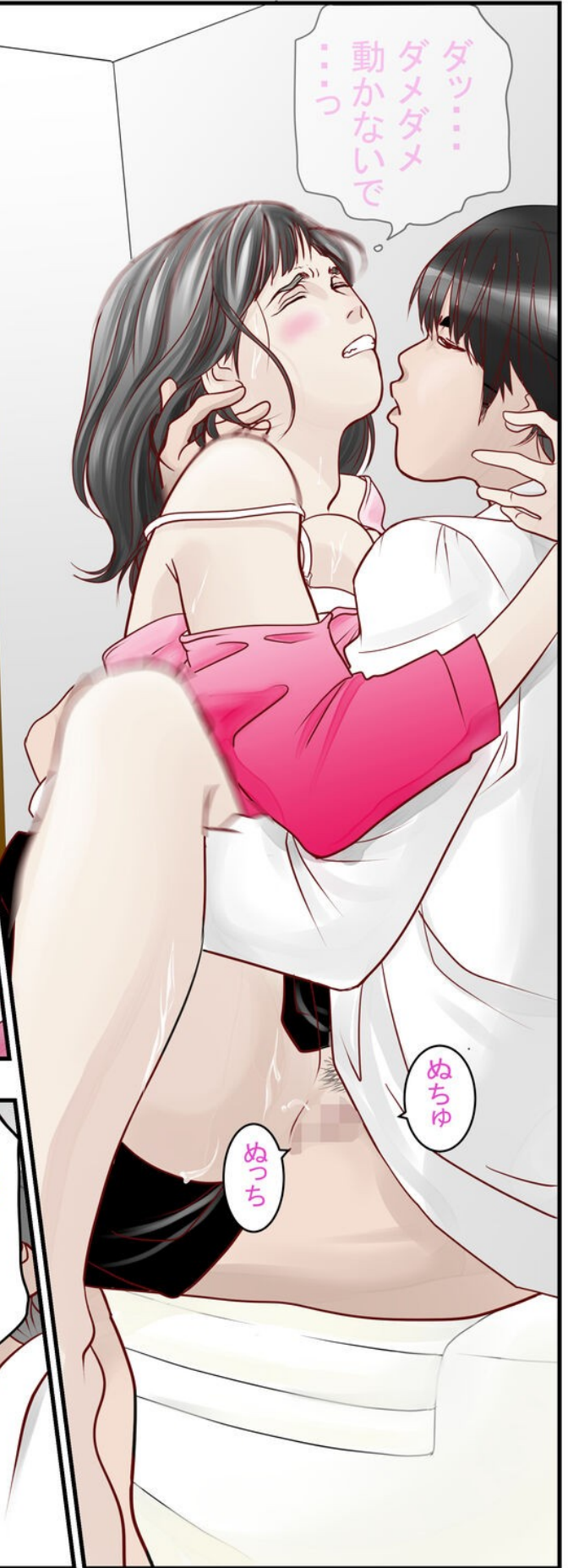
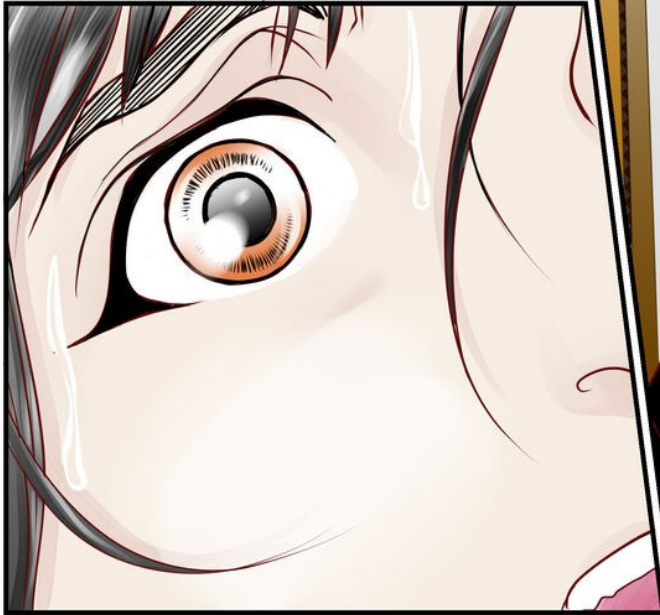




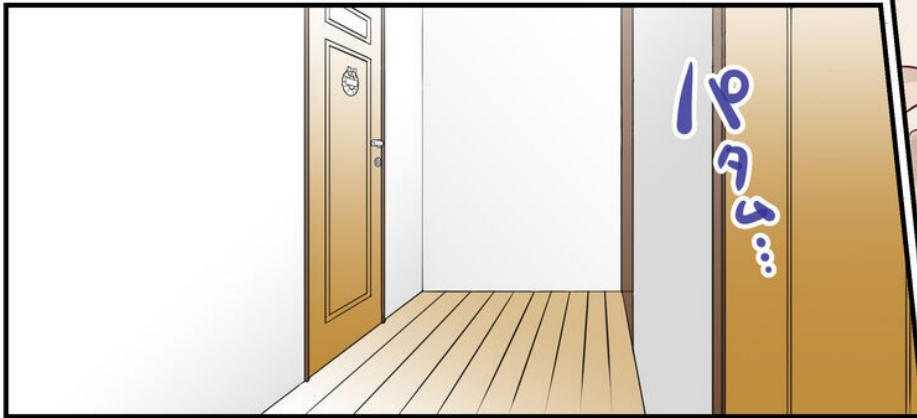


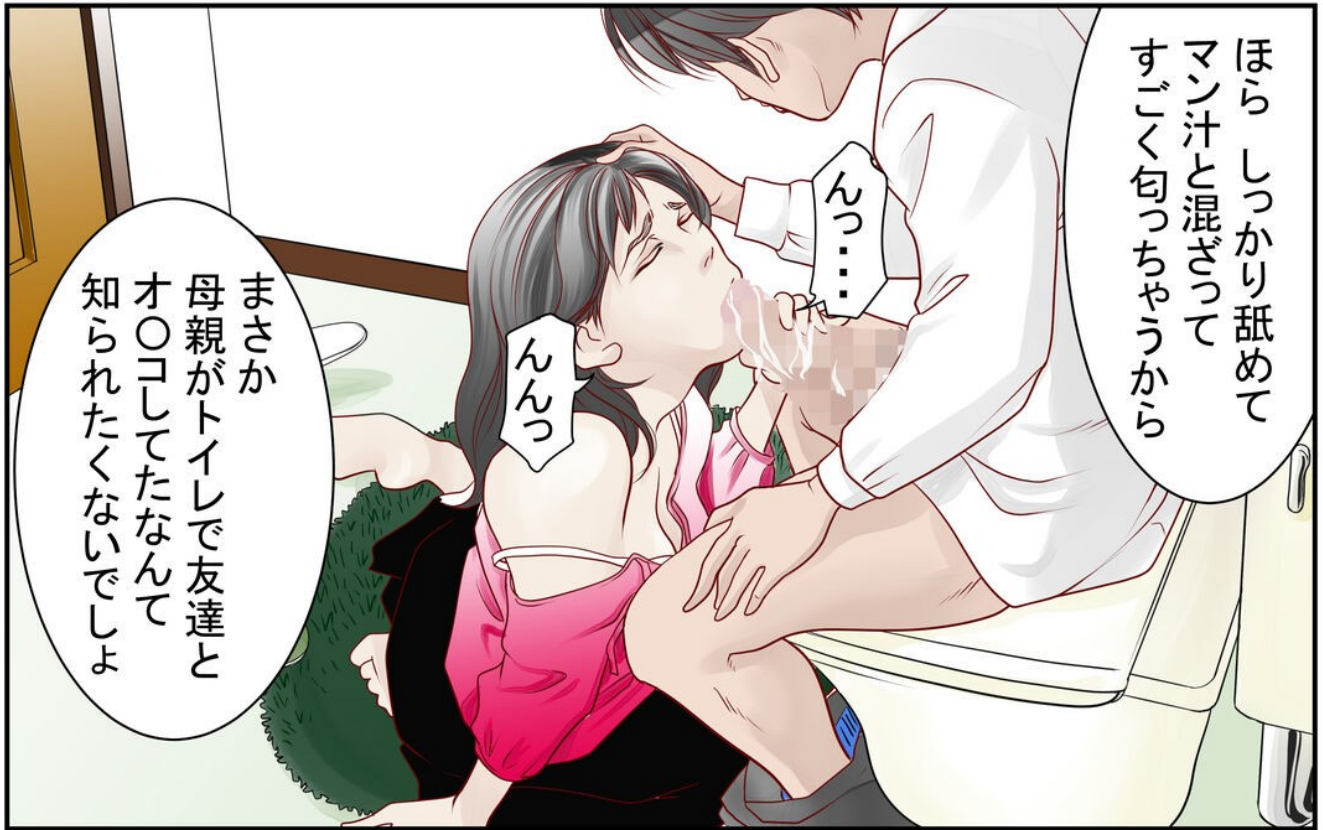












まさか
母親がトイレで友達と
オコしてたなんて
知られたくないでしょ

ほら しっかりと舐めて
マン汁と混ぜて
すぐく匂っっちゃうから



このまま
出すから

ヤバイ
もう一回っ

うぶっ

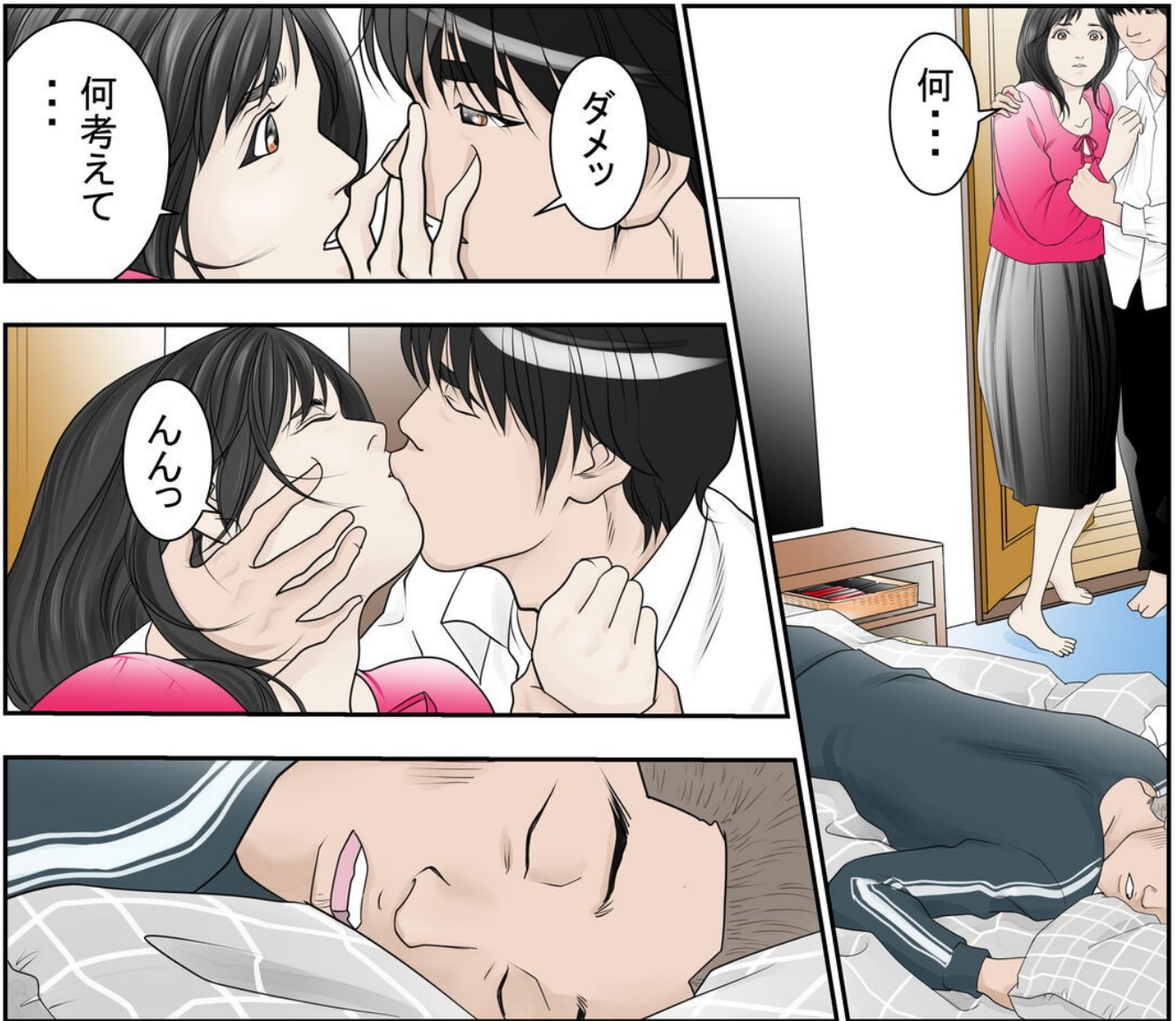


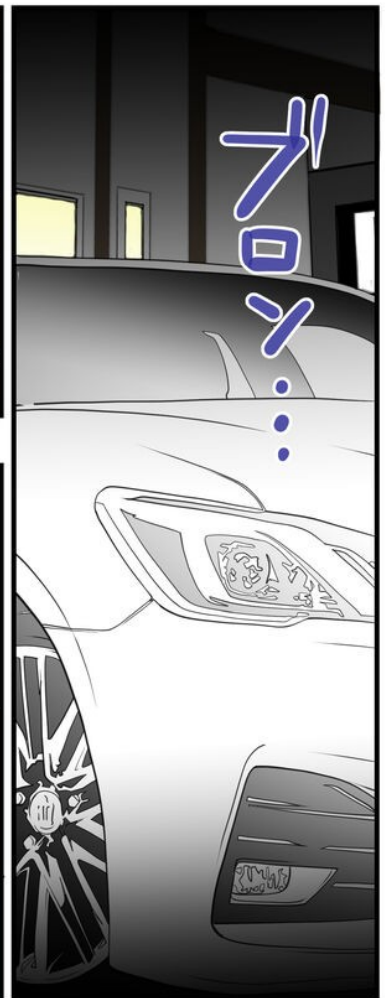
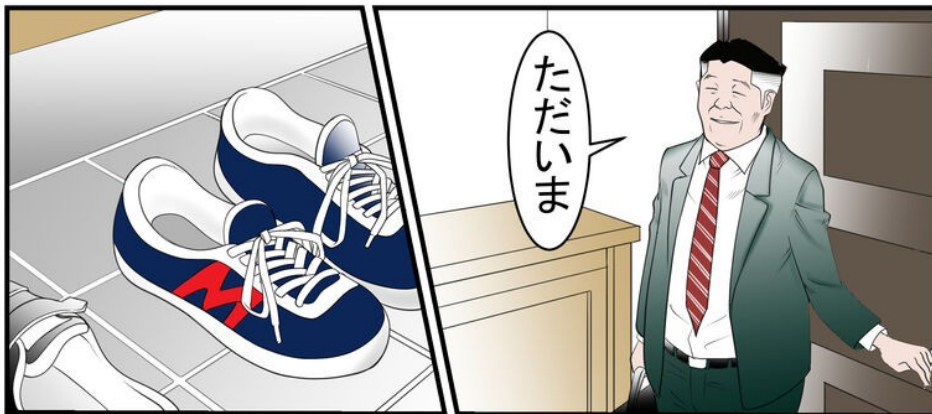
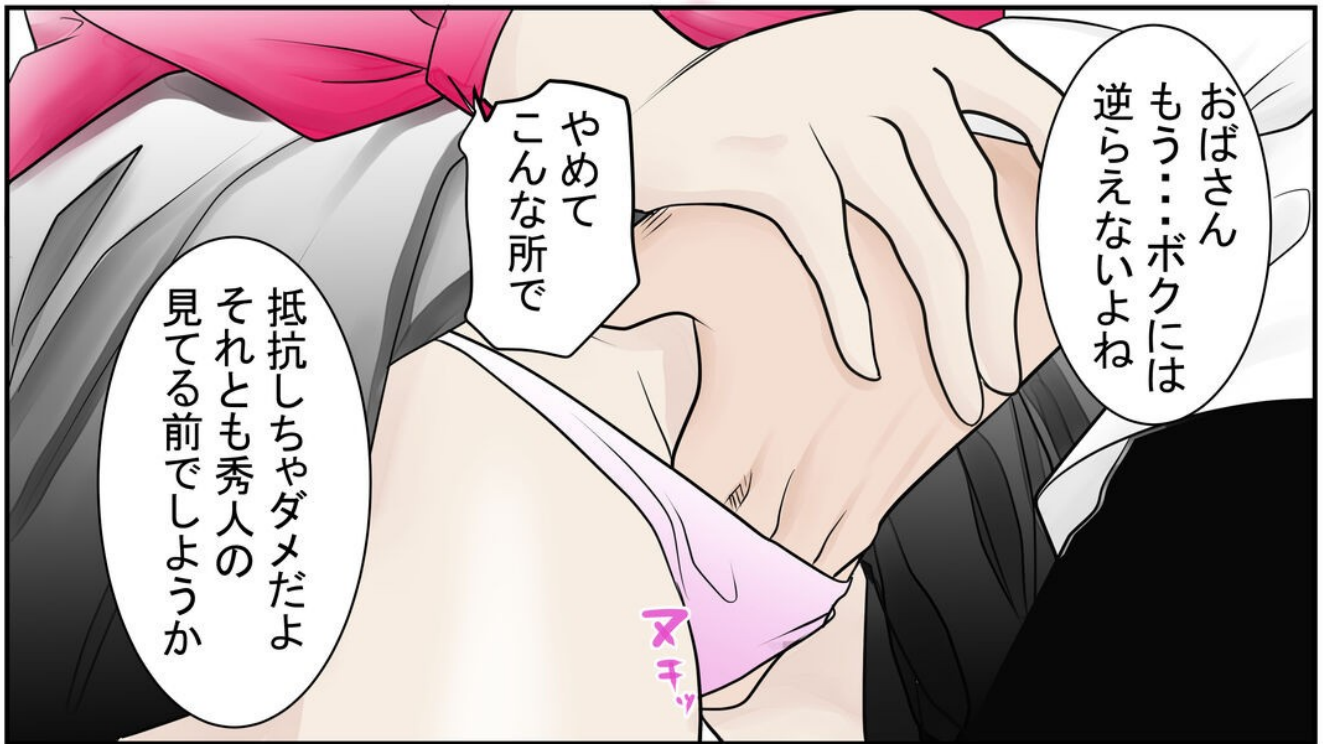
ああっ いい眺めだ
おばさんがボクの
啜えてくれてるなんて...

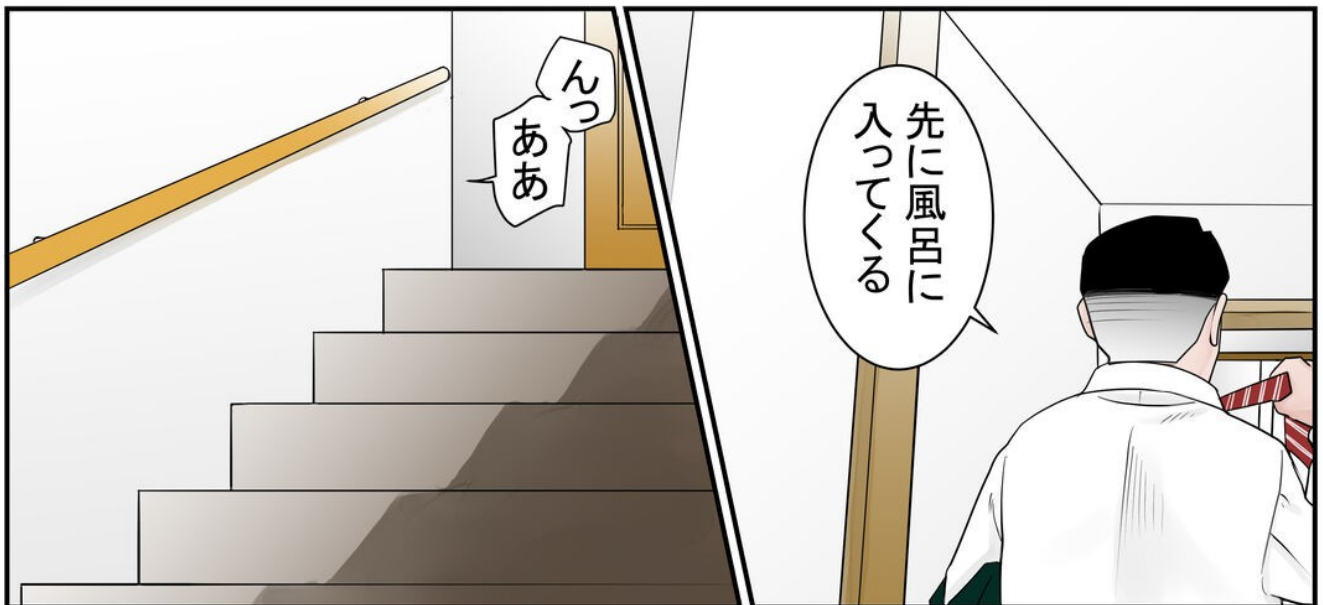


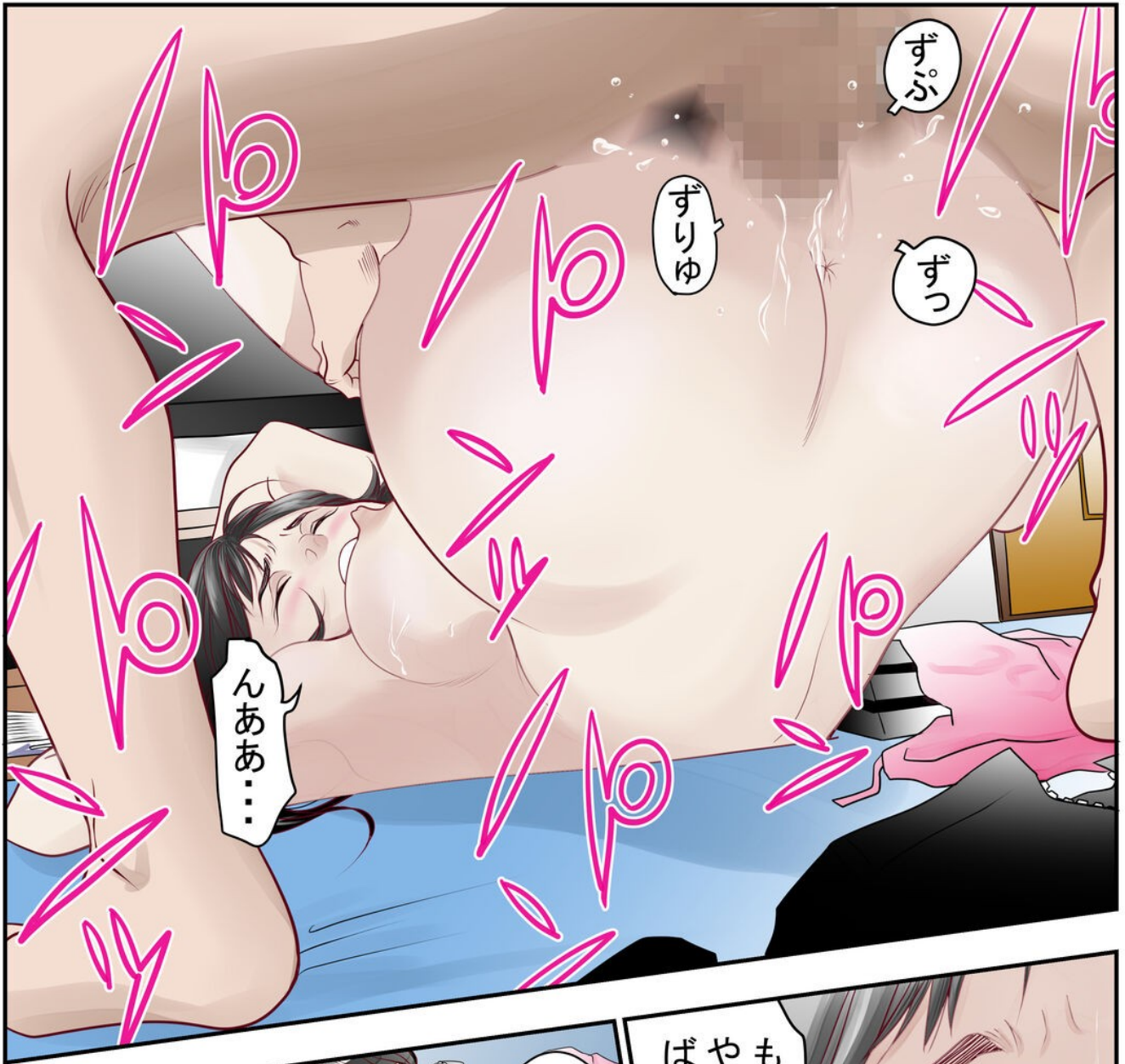
ガタンッ

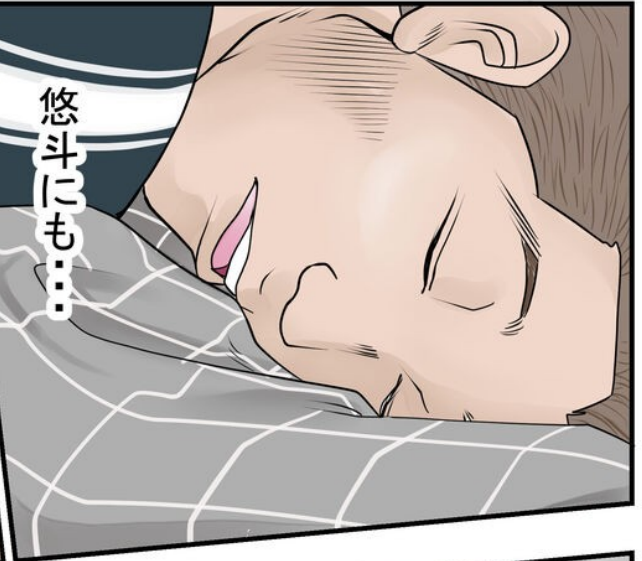
ガッ
ガッ

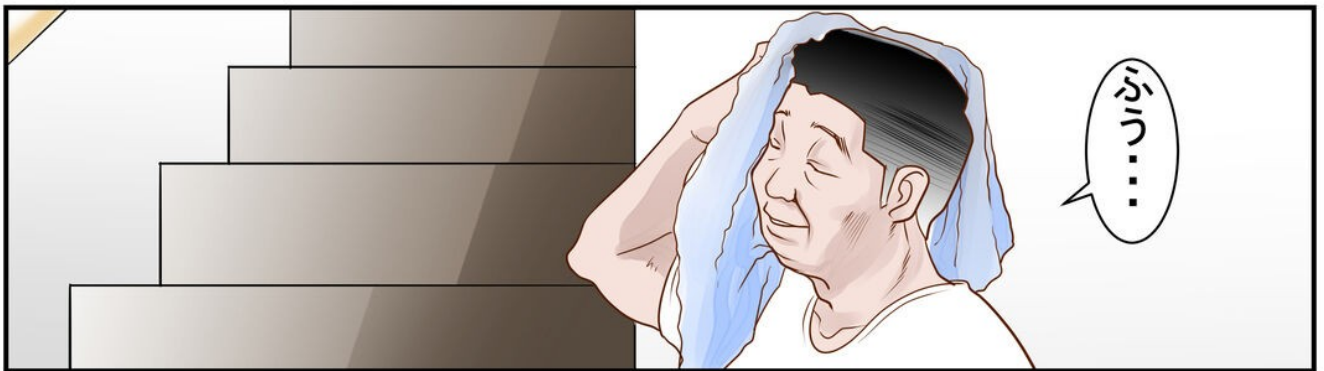
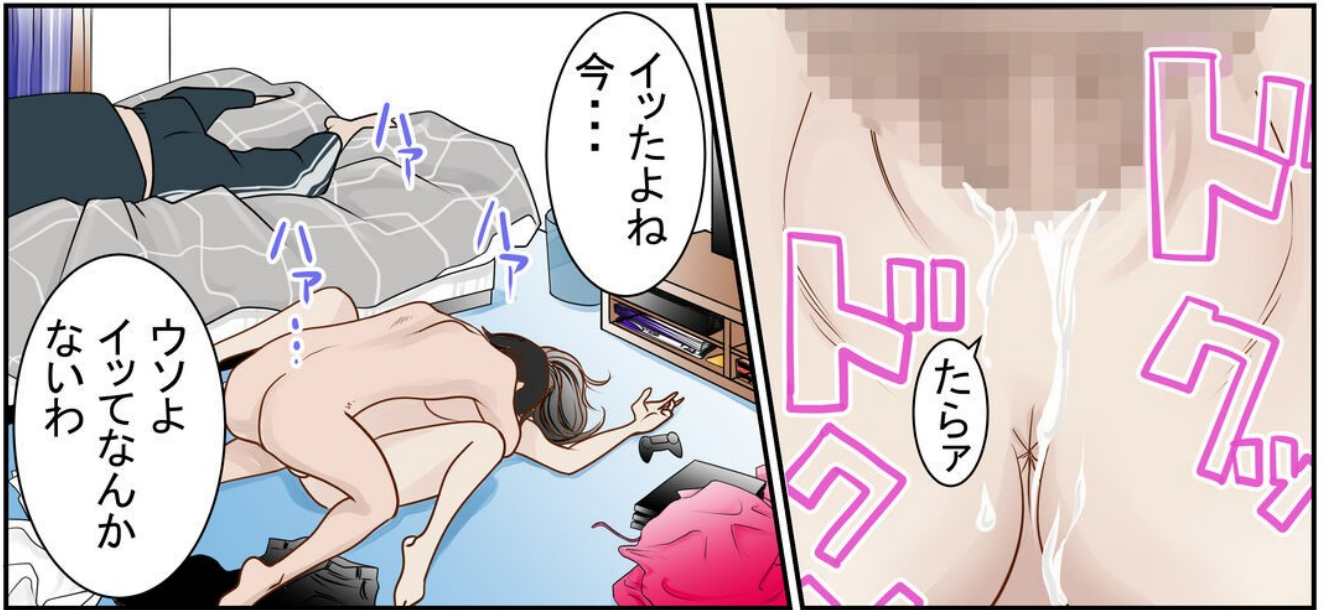










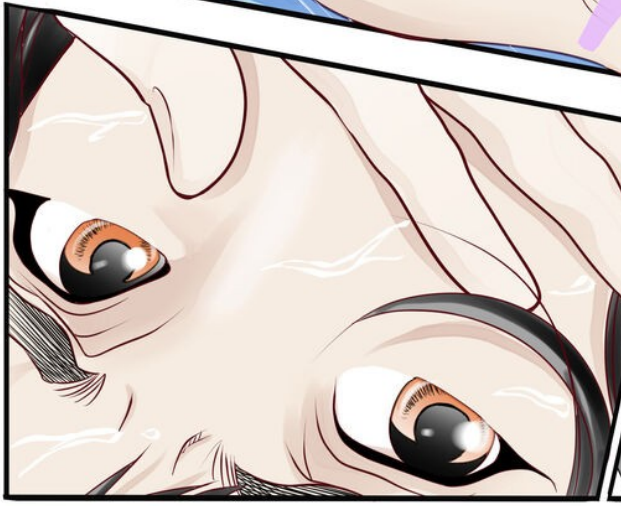


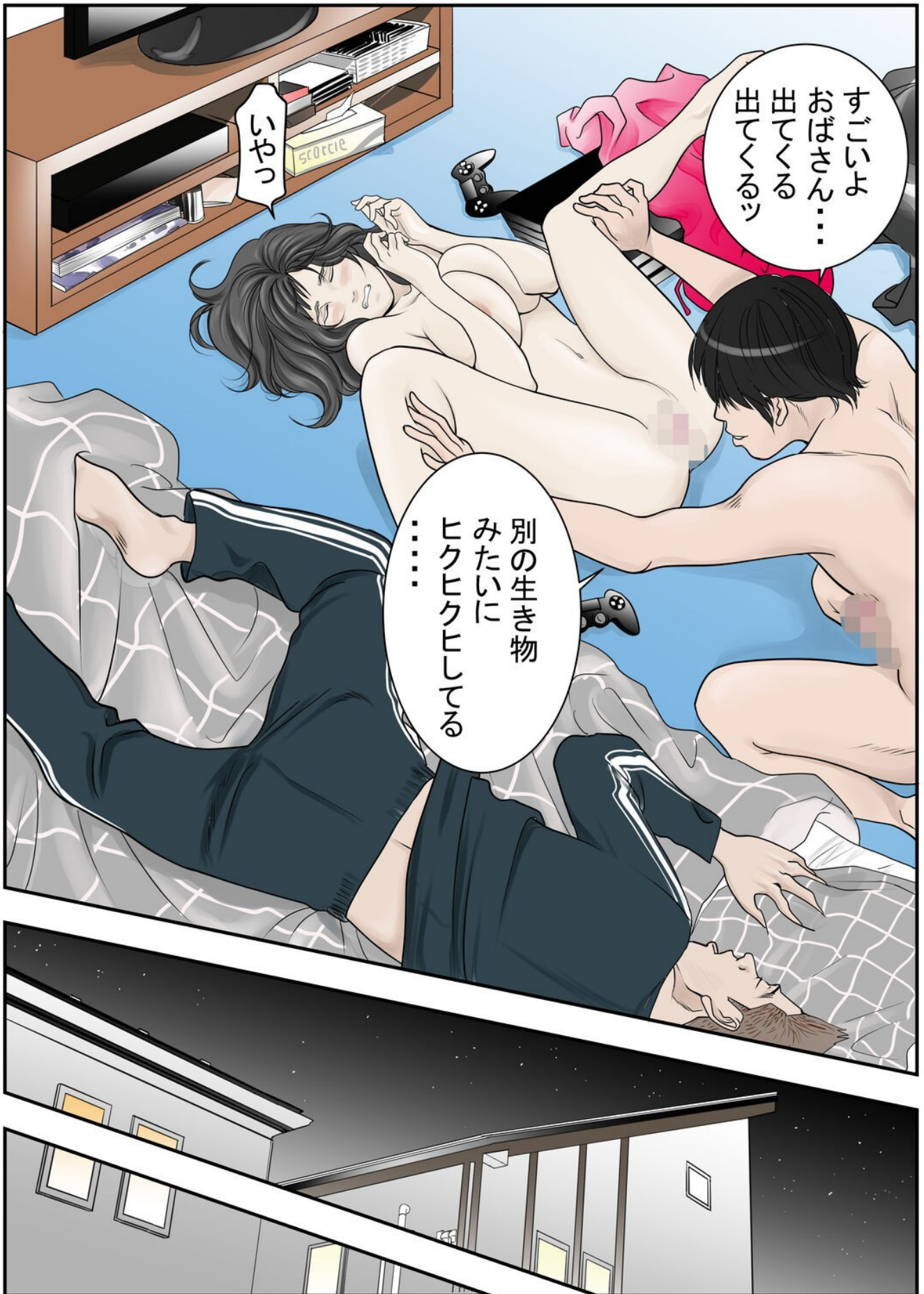


僕のチ○コで
イッタって

ハアッ

うゝん

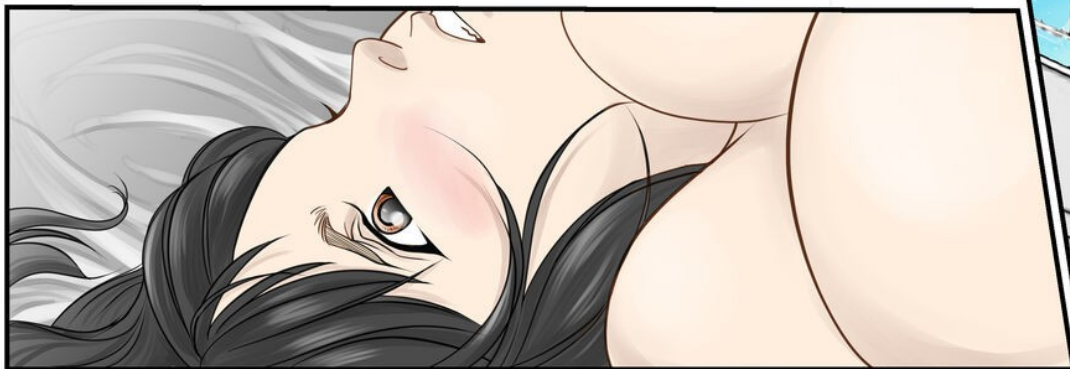


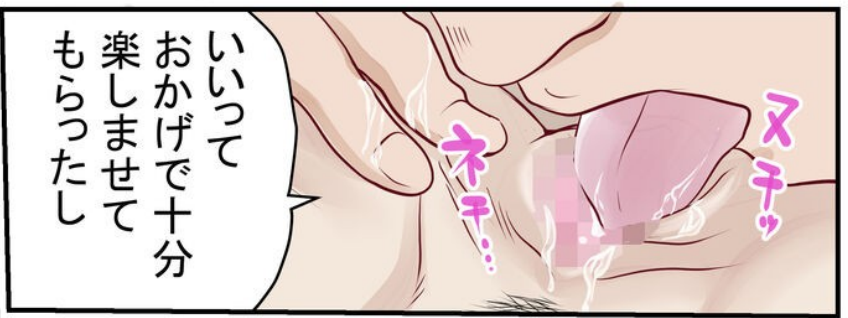


すごいよ
おばさん...
出てくるッ
出てくるッ

別の生き物
みたいに
ヒクヒクヒしてる
.....

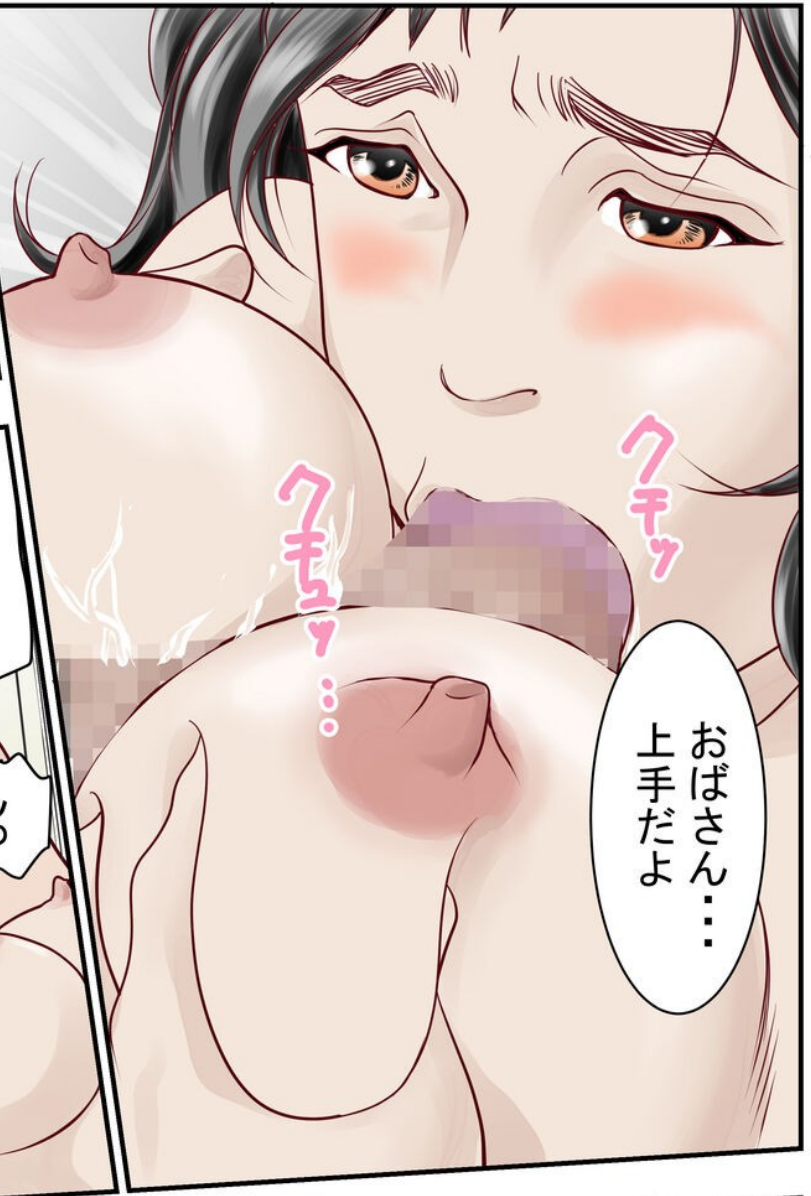
いぢい







ああ
飯何だった？

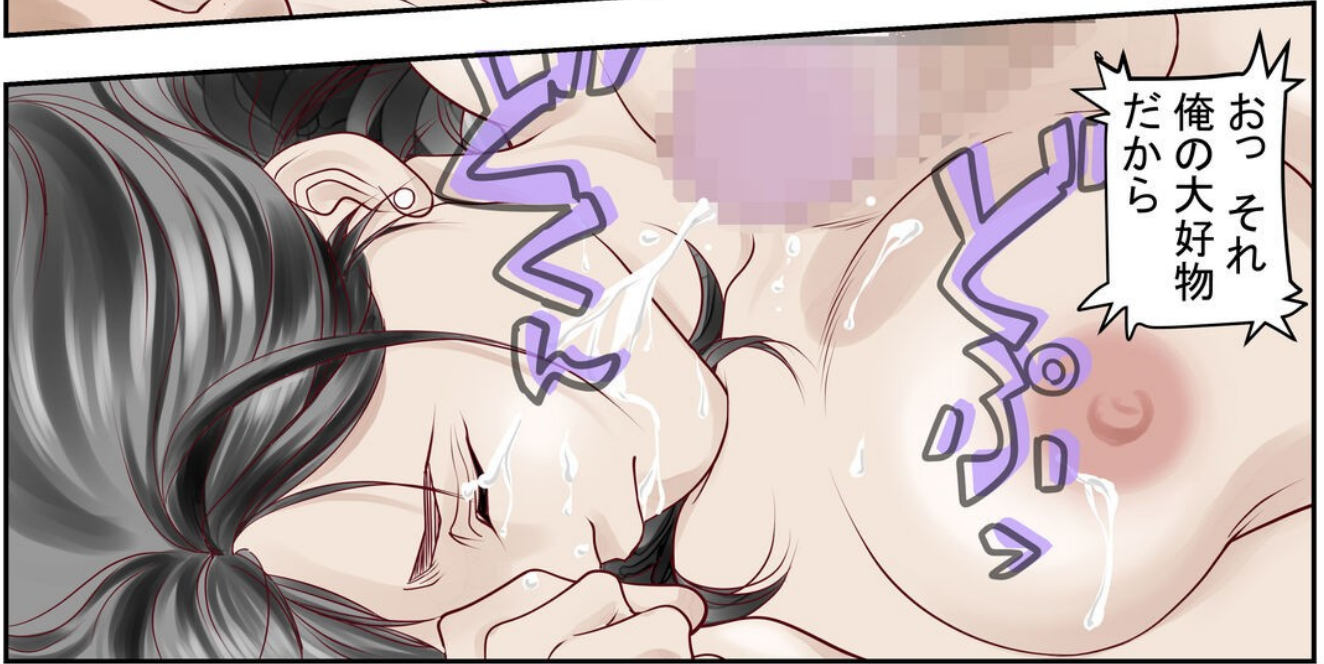


おばさん...
上手だよ

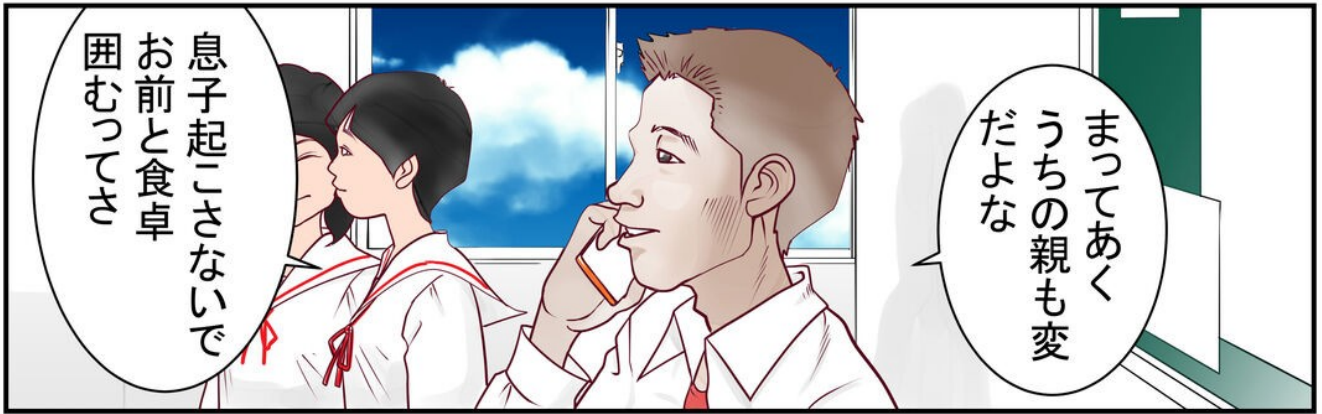


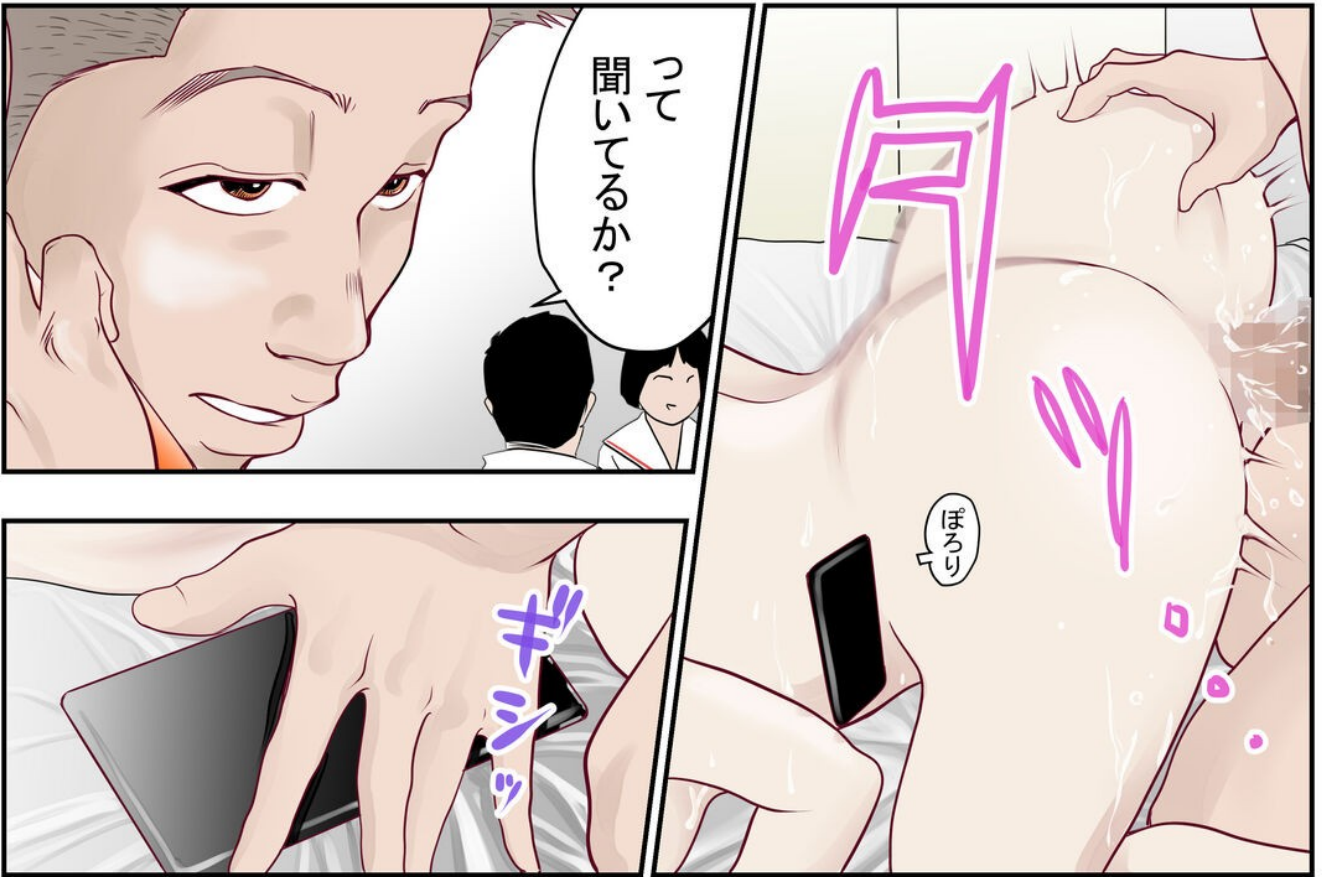
生姜焼き
んっ んん...

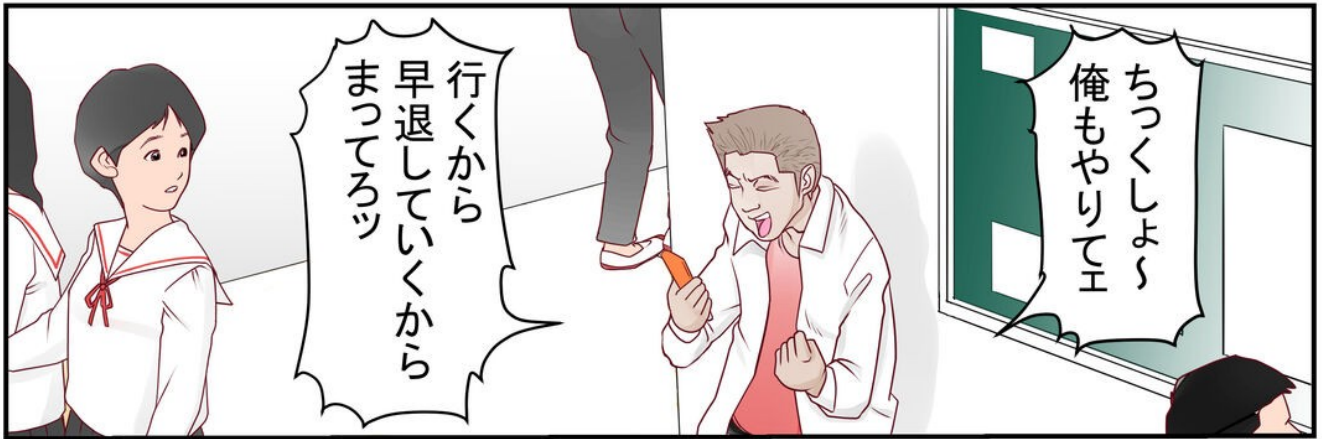
んっ
んっ
んっ



おっ それ
俺の大好物
だから



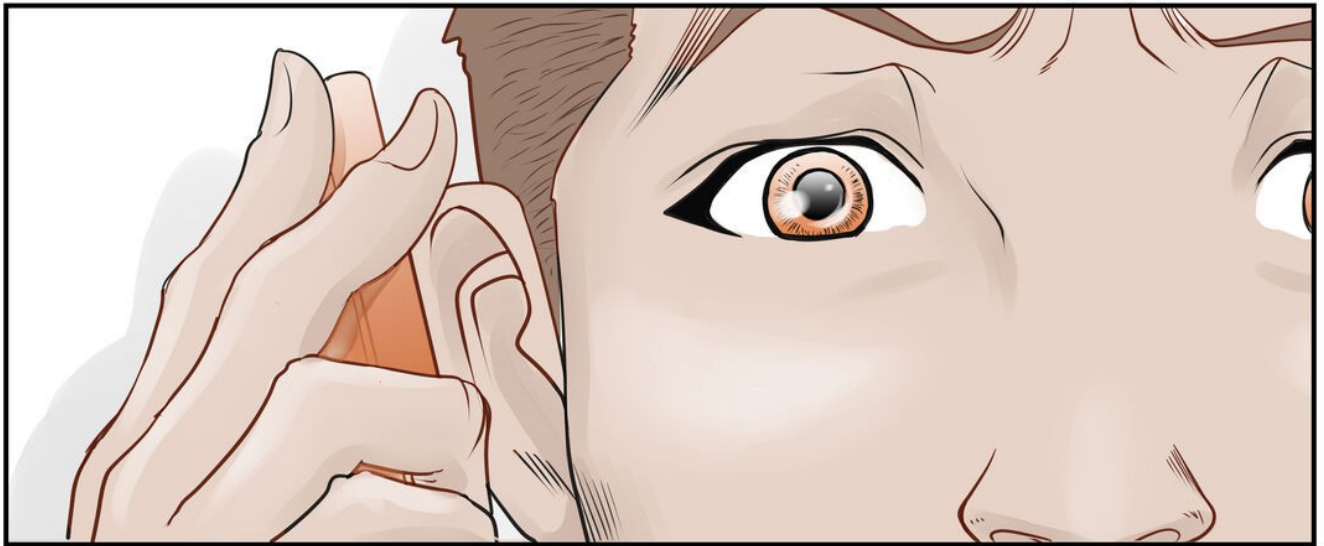






ごうごめんね……
秀人
お母さん もう
我慢……でき……なっ







ああ、嬉しい
たくさん出して

私……もう
涉くんのオチ○チンなしじゃ
いられない身体に
なっちゃったから



秀人…

これでもお前はボクを…

友人と呼んで
くれるだろうか。

ビクッ

ビクン

ドロッ
ドロッ